

令和2年度 高知市中心市街地活性化基本計画の定期フォローアップに関する報告

令和3年5月

高知市（高知県）

○計画期間：平成30年4月～令和5年3月（5年）

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 令和2年度終了時点（令和3年3月31日時点）の中心市街地の概況

本市では、平成30年3月に計画の認定を受け、「地域資源の魅力が織り成す、『暮らし』と『交流』の調和したまち」を目指し、認定基本計画に登録のハード・ソフトあわせて60事業を実施している。

中心市街地では、平成30年7月の県市合築の新図書館等複合施設「オーテピア」のオープンをきっかけとして、中心商店街とオーテピアを回遊する新たな人の流れが生まれ、オーテピアと隣接する商店街では新規出店が相次ぎ、歩行者通行量も増加傾向にあった。しかし、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大による緊急事態宣言及び飲食店等に対する休業要請等が4月に発出され、個人消費や企業業績が急激に落ち込み、中心市街地への人出も5月下旬に緊急事態宣言が全面解除されるまでは、かつてないほど閑散としていた。数十年続く高知の夏の風物詩である「よさこい祭り」や「土曜夜市」に加え「こうち春花まつり」など、多くのイベントが相次いで中止となったが、その後は徐々に人出も戻り始め、感染の一定の落ち着きが見られた秋以降は感染症対策を講じながら「高知大道芸フェス2020」や「高知市GoTo商店街キャンペーン」等のイベントが実施され、中心市街地に賑わいが一時的に回復した。

このようにソフト面では多くのイベントが中止や規模縮小を余儀なくされたが、ハード面では、（仮称）帯屋町一丁目地区複合施設整備事業が令和元年度に建築工事に着手後、順調に進捗している。同事業は映画館と商業店舗を併設するマンションを整備するものであり、令和3年5月竣工予定となっている。中心市街地エリア内では他にも民間分譲マンションの建設が進んでおり、令和2年度に1棟が整備され、令和3年度にも2棟の整備が予定されている。加えて、高知城に隣接する都市公園の丸ノ内緑地リニューアル整備が本格化するなど、居住環境の向上により更なる中心市街地の人口増加が期待される。

以上の取組により、目標値に対する令和2年度の達成状況は、「中心市街地の居住人口の割合」はマンション整備等が順調に進捗し1.70%と目標達成となったが、その他の目標値「歩行者通行量」及び「拠点施設入館者数」については、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により主なソフト事業が中止や規模縮小となったことや、来街者が激減したため、ともに目標達成とはならなかった。新型コロナウイルスの影響が今後も続くことから、引き続き状況を注視しつつ行政、商店街、民間事業者等が連携して中心市街地のまちづくりに取り組んでいく必要がある。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

(1) 居住人口

(基準日：毎年度1月1日)

単位：人

(中心市街地区域)	平成 29 年度 (計画前年度)	平成 30 年度 (1 年目)	令和元年度 (2 年目)	令和2年度 (3 年目)
人口	5,019	5,103	5,271	5,532
人口増減数	-79	84	168	261
自然増減数	-46	-61	-37	-54
社会増減数	-24	150	214	306
その他の増減数 (帰化・国籍喪失等)	-9	-5	-9	9
転入者数	394	579	654	719

(データ：住民基本台帳)

(2) 店舗数

(基準月：毎年12月)

(中心市街地区域)	平成 29 年度 (計画前年度)	平成 30 年度 (1 年目)	令和元年度 (2 年目)	令和2年度 (3 年目)
中心市街地全体	540	569	568	555
はりまや橋商店街	34	35	37	36
京町・新京橋商店街	51	49	46	49
壱番街商店街	31	31	31	31
帯屋町一丁目商店街	90	92	91	88
帯屋町二丁目商店街	45	48	48	43
おびさんロード商店街	48	49	50	48
中の橋商店街	47	42	47	47
柳町商店街	70	68	69	69
大橋通り商店街	43	43	41	36
魚の棚商店街	22	23	20	19
天神橋通商店街	30	32	31	31
菜園場商店街	32	54	55	58
升形商店街	33	39	38	36

(データ：「商店街空き店舗調査」(高知市、高知商工会議所実施))

※複数商店街への重複店があるため、中心市街地全体の店舗数は各商店街の店舗数合計と一致しない。

(3) 地価

(基準日：毎年度1月1日)

単位：円

(中心市街地区域)	平成 29 年度 (計画前年度)	平成 30 年度 (1 年目)	令和元年度 (2 年目)	令和2年度 (3 年目)
中心市街地全地点の平均	187,750	191,625	192,625	190,625
本町1丁目29番外	252,000	252,000	253,000	252,000
廿代町318番	139,000	139,000	139,000	137,000

升形 52 番	148,000	147,000	146,000	144,000
本町 2 丁目 104 番	158,000	158,000	158,000	158,000
はりまや町 1 丁目 108 番 (※)	198,000	225,000	225,000	221,000
帯屋町 1 丁目 170 番外	256,000	261,000	269,000	264,000
はりまや町 1 丁目 333 番 1 外	182,000	182,000	182,000	181,000
本町 5 丁目 52 番	169,000	169,000	169,000	168,000

(データ：国土交通省地価公示・都道府県地価調査)

※はりまや町 1 丁目 108 番の調査地点については、平成 29 年度までははりまや町 3 丁目 76 番、平成 30 年度から現地番

2. 令和2年度 of 取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

高知市中心市街地活性化基本計画における令和 2 年度の取組は、ハード事業については、中心市街地への民間投資が活発になっており、(仮称) 帯屋町一丁目地区複合施設整備事業等の民間分譲マンションの建設が次々と進んでいることに加え、丸ノ内緑地をはじめとする都市公園のリニューアルも順調に進捗していることから、更なる中心市街地の居住人口の拡大が期待される。

一方、ソフト事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止又は規模縮小となったイベント等が多数見受けられ、来街者の激減により、数値目標である「歩行者通行量」及び「拠点施設入館者数」の令和 2 年度の最新値は大きく落ち込んだ。

拠点施設であるオーテピアや高知城歴史博物館などは、商店街や日曜市と連携しながら多彩な企画をこれまで実施しており、商店街も年間を通じて特色あるイベントを多数開催し、中心市街地に賑わいを創出してきたが、新型コロナウイルス感染症の収束がいまだ不透明な状況下において、今後のソフト事業の実施については見直しが必要であり、目標達成に向けての登載事業の変更等もあわせて検討されたい。

計画期間も残り 2 年となっており、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う社会状況の変化を踏まえ、ウィズコロナ時代に対応した中心市街地のまちづくりを官民が連携して実効的に推進し、新型コロナウイルス感染症の一定の収束後には、観光戦略の強化など目標達成に向けて各事業を着実に取り組んでいくことを期待する。

Ⅱ. 目標ごとのフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況	前回の見通し	今回の見通し
「すべての世代が永く住み続けられるまち」の実現	中心市街地の居住人口の割合	1.52% (H28)	1.65% (R4)	1.70% (R2)	A	①	①
「多くの人が回遊するまち」の実現	歩行者通行量 (17 地点)	119,447 人 (H28)	123,278 人 (R4)	75,866 人 (R2)	C	①	2
	東エリアの歩行者通行量 【参考指標】	34,671 人 (H28)	35,585 人 (R4)	20,037 人 (R2)	C	—	—
	西エリアの歩行者通行量 【参考指標】	80,045 人 (H28)	82,940 人 (R4)	52,090 人 (R2)	C	—	—
	周辺エリアの歩行者通行量 【参考指標】	4,731 人 (H28)	4,753 人 (R4)	3,739 人 (R2)	C	—	—
「また訪れたいと思うまち」の実現	拠点施設入館者数(4施設)	1,159,555 人 (H28)	1,748,000 人 (R4)	902,036 人 (R2)	C	①	2

< 基準値からの改善状況 >

A : 目標達成、B : 基準値より改善、C : 基準値に及ばない

< 目標達成に関する見通しの分類 >

①目標達成が見込まれる ②目標達成が見込まれない

※関連する事業等の進捗状況が順調でない場合はそれぞれ 1、2 とする。

2. 目標達成見通しの理由

中心市街地の人口については、主要事業である民間分譲マンションの整備事業が予定通り事業完了したことや、計画登載の事業以外にもマンション建設が相次いでいることなどから、中心市街地の居住人口は平成 29 年度以降毎年増加し続けている。令和 2 年度の最新値(調査日: 4 月 1 日)は 5,490 人、市全体の人口に対する割合は 1.70% となり、目標を達成している。

一方で、歩行者通行量及び拠点施設入館者数の令和 2 年度最新値はそれぞれ 75,866 人、902,036 人といずれも目標値を大幅に下回ったが、これは、新型コロナウイルス感染症拡大により、主なソフト事業が規模縮小又は中止となったことや、外出控えにより中心市街地への来街者が大幅に減少したことが影響したものである。新型コロナウイルス感染症拡大の影響下においてソフト事業は新しい生活様式に対応した実施方法への転換を余儀なくされ、オンラインや密集を避ける規模での実施が今後のニューノーマルとなっていくことから、コロナ以前に設定した目標値を達成することは困難であると判断した。

3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

「中心市街地の居住人口の割合」

前回のフォローアップと見通しは変わっていない。

「歩行者通行量」及び「拠点施設入館者数」

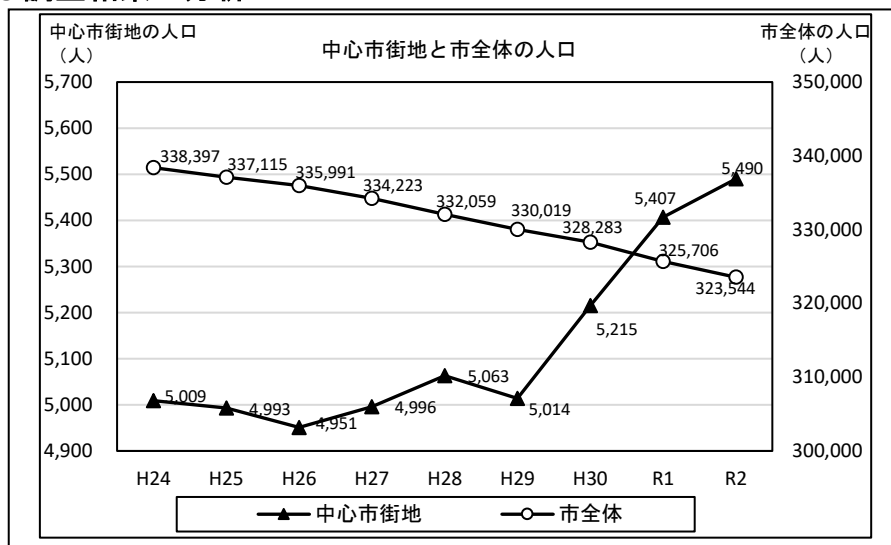
令和元年度までは目標に関連する各事業が順調に進捗しており、歩行者通行量も順調に増加し、令和元年度には目標達成していた。しかし、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により主なソフト事業が中止や規模縮小となったことや来街者が激減したため、歩行者通行量及び拠点施設入館者数の最新値は令和元年度のそれぞれ約 52%、約 54%と大きく落ち込んだ。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響下において、ソフト事業の実施は新しい生活様式に対応した方法へと転換し、オンラインや密集を回避する規模での実施が今後のニューノーマルとなっていくため、コロナ以前に設定した目標値を達成することは困難であると判断し、前回のフォローアップから見通しを変更した。

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

(1)「中心市街地の居住人口の割合」※目標設定の考え方認定基本計画 P68～P70 参照

●調査結果と分析



年	(単位)
H28	1.52% (基準年値)
H29	1.52%
H30	1.59%
R1	1.66%
R2	1.70%
R3	
R4	1.65% (目標値)

※調査方法：基本計画区域内の町丁目別及び市全体の住民基本台帳人口

※調査月：毎年4月1日

※調査主体：高知市

※調査対象：基本計画区域内及び高知市の居住者

<分析内容>

中心市街地の居住人口の割合の増加に向けた各事業については、概ね予定どおり完了した。中心市街地の居住人口については平成29年度以降毎年増加しているが、後述する民間分譲マンション3棟が予定通り事業完了したことや、計画登載以外にもマンション建設が相次いでいることが大きく寄与している。令和2年度の中心市街地の人口は5,490人で、市全体の人口に対する割合は1.70%となっており、目標値である1.65%を上回っている。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. (仮称) 帯屋町一丁目地区複合施設整備事業 (民間事業者)

事業実施期間	平成30年度～令和3年度【実施中】
事業概要	商業店舗や映画館と共同住宅の複合施設を整備するもの
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	既存建物にあった映画館が、平成31年1月から休館。 令和元年6月、解体工事及び建設工事に着手した。 令和3年5月竣工予定。 ・計画：供給戸数51戸 82人の居住人口増加見込み (1戸あたり平均1.62人と仮定)
事業の今後について	令和3年5月に竣工予定。共同住宅51戸を整備する予定であり、中心市街地における街なか居住の推進に寄与することが期待される。

②. 「クレアホームズ高知駅前 ザ・レジデンス」整備事業（セントラル総合開発株式会社）

事業実施期間	平成 30 年度【済】
事業概要	北本町二丁目地区において民間分譲マンションを整備するもの
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	平成 30 年 11 月竣工。分譲戸数 55 戸のマンションが整備されたことにより、北本町二丁目地区の居住人口増加につながった。 ・計画：供給戸数 55 戸 89 人の居住人口増加見込み ・実績：計画通り 55 戸整備，完売
事業の今後について	事業完了

③. 「ロイヤルガーデンはりまや町」整備事業（株式会社和田コーポレーション）

事業実施期間	平成 30 年度【済】
事業概要	はりまや町一丁目地区における民間分譲マンションの整備
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	平成 30 年 12 月竣工。分譲戸数 42 戸のマンションが整備されたことにより、はりまや町一丁目地区の居住人口増加につながった。 ・計画：供給戸数 42 戸 68 人の居住人口増加見込み ・実績：計画通り 42 戸整備，完売
事業の今後について	事業完了

④. 「クレアホームズ升形 ザ・レジデンス」整備事業（セントラル総合開発株式会社）

事業実施期間	平成 30 年度【済】
事業概要	升形地区における民間分譲マンションの整備
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	平成 31 年 2 月竣工。分譲戸数 38 戸のマンションが整備されたことにより、升形地区の居住人口増加につながった。 ・計画：供給戸数 38 戸 61 人の居住人口増加見込み ・実績：計画通り 38 戸整備，完売
事業の今後について	事業完了

⑤. 移住・定住促進事業（高知市）

事業実施期間	平成 27 年度～令和 4 年度【実施中】
国の支援措置名及び支援期間	連携中枢都市に対する普通交付税
事業概要	街の魅力や移住・定住に関する情報発信や，三世帯同居等となる子育て

	て世帯の転入・定住費用に対する支援など、移住・定住を促進するための各種施策を実施するもの
事業目標値・最新値及び進捗状況	移住希望者を対象に、街なかをはじめとする市内を案内するガイドツアー（令和2年度実績：4組）や、ホームページやSNS等において、生活のしやすさ、利便性が高いことについて情報発信するとともに、三世帯同居等となる子育て世帯の転入・定住費用に対する支援（令和2年度実績：13件）などを実施した。
事業の今後について	引き続き、移住希望者対象としたガイドツアーの実施や各種補助の実施等により、移住・定住の促進に向けた支援を行っていく。

●目標達成の見通し及び今後の対策

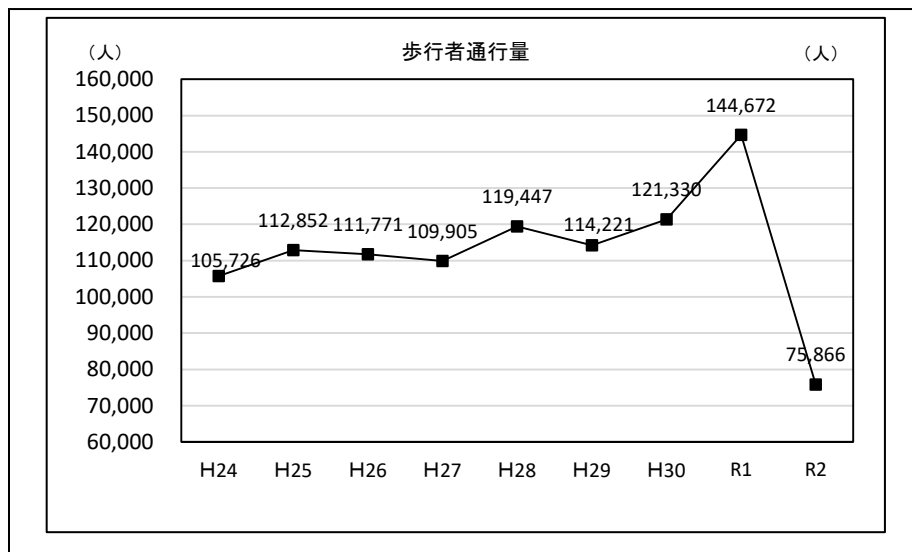
中心市街地の人口については、主要事業である民間分譲マンションの整備事業が予定通り事業完了したことや、計画登載以外にもマンション建設が相次いでいることなどから、中心市街地の居住人口は平成29年度以降毎年増加し続けている。令和2年度の最新値（調査日：4月1日）は5,490人、市全体の人口に対する割合は1.70%となり、目標を達成している。

令和3年度も3棟のマンション建設が予定されているため今後も居住人口が増加すると予測されることや、丸ノ内緑地をはじめとする都市公園のリニューアルを順次実施していく予定であり、さらに居住環境の向上を図り、街なか居住を推進していく。

Ⅱ「歩行者通行量（17 地点・冬季・平日休日 2 日の合計）」

※目標設定の考え方基本計画 P71～P76 参照

●調査結果の推移



年	(単位)
H28	119,447 人 (基準年値)
H29	114,221 人
H30	121,330 人
R 1	144,672 人
R 2	75,866 人
R 3	
R 4	123,278 人 (目標値)

※調査方法：中心市街地内の 17 地点において、毎年 12 月の第 3 金曜日及び日曜日に実施。

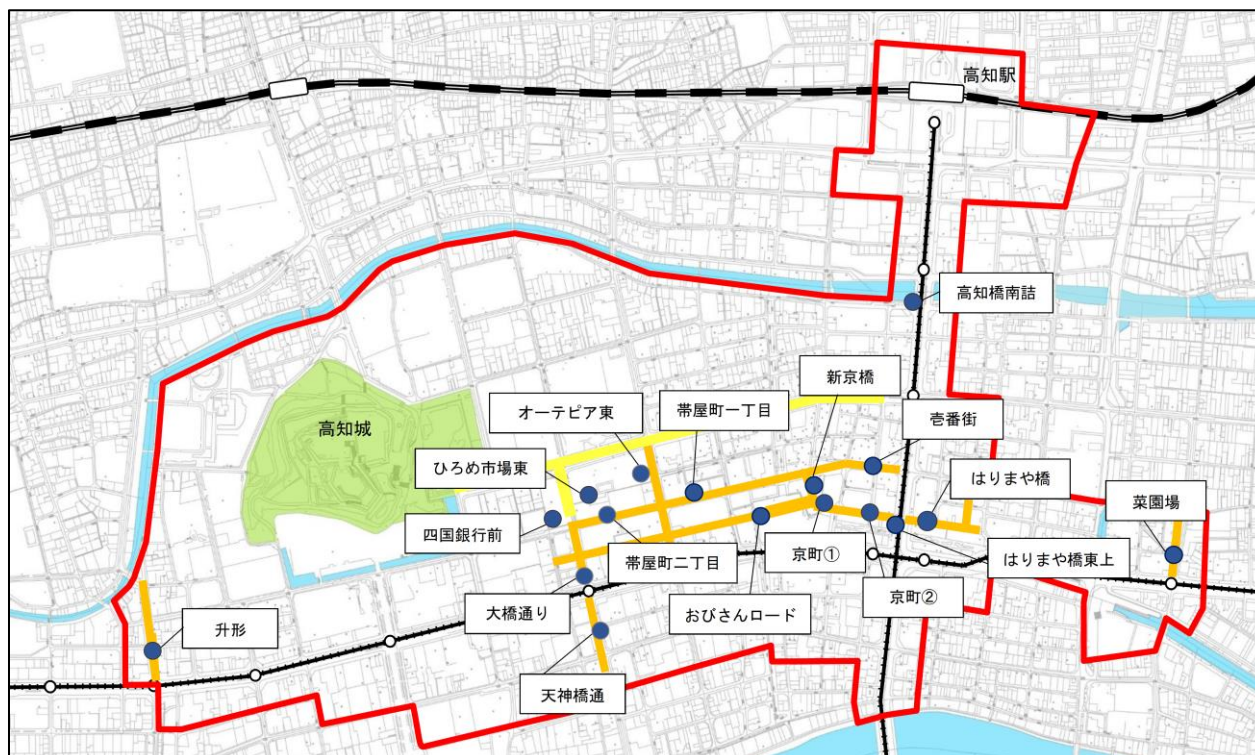
10 時～18 時の間に通行する歩行者を計測。

※調査月：令和 2 年 12 月

※調査主体：高知市、高知県商店街振興組合連合会

※調査対象：中心市街地内 17 地点の歩行者

< 調査地点図 >



(単位：人)

	平成 29 年度 (計画前年度)	平成 30 年度 (1 年目)	令和元年度 (2 年目)	令和 2 年度 (3 年目)
大橋通り商店街	8,163	8,943	11,226	7,221
帯屋町二丁目商店街	18,078	22,758	30,945	11,772
帯屋町一丁目商店街	17,910	24,615	25,473	12,801
おびさんロード商店街	3,402	3,243	4,491	2,322
壱番街商店街	8,469	8,292	9,600	5,361
新京橋商店街	5,781	6,771	7,041	3,039
京町商店街①	5,760	5,880	6,615	3,114
京町商店街②	7,011	6,681	7,278	3,504
はりまや橋商店街	4,959	5,265	5,541	2,880
はりまや橋東上	5,391	3,609	4,308	2,139
菜園場商店街	1,005	1,056	864	612
升形商店街	1,077	708	1,041	858
天神橋通商店街	3,021	3,264	2,475	2,352
四国銀行帯屋町支店前	6,562	5,202	6,111	4,726
ひろめ市場東	9,026	6,636	11,322	6,586
オーテピア東	5,218	5,069	6,491	4,310
高知橋南詰	3,388	3,338	3,850	2,269
合計	114,221	121,330	144,672	75,866

〈分析内容〉

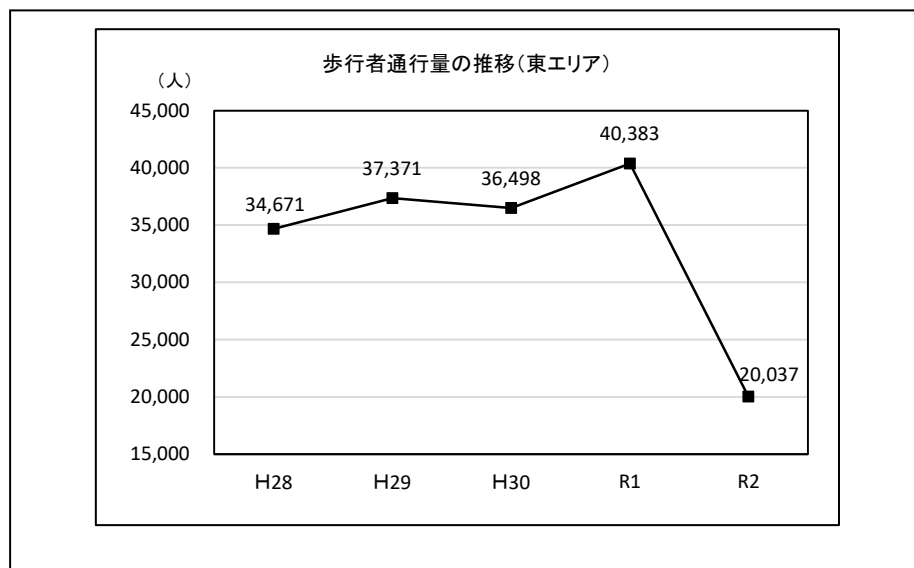
中心市街地では平成 27 年度に帯屋町チェントロ，平成 29 年度に高知城歴史博物館，平成 30 年度にオーテピアが整備され，新たな人の流れや賑わいが生まれたことに伴い，近年は歩行者通行量が増加傾向にあり，令和元年度の歩行者通行量は 144,672 人と，本市が中心市街地基本計画の取組を開始した平成 24 年度以降最も高くなっていた。

しかし，新型コロナウイルス感染症の影響により，令和 2 年度は緊急事態宣言以後，来街者が激減した。5 月下旬に緊急事態宣言が全面解除されてからも外出自粛傾向は続き，その後，感染者数が一定落ち着きを見せた秋以降はイベント等が開催され始め，中心市街地に賑わいが戻りつつあったが，11 月下旬に感染が再拡大した。令和 2 年度の調査日は，高知県が飲食店等に営業時間短縮を要請した期間中で市民・県民が不要不急の外出を控えていたことから 75,866 人となり，平成 24 年度の調査開始以降最も低い数値となった。

＜参考指標＞エリア別の歩行者通行量

（参考指標① 東エリア（６地点）の歩行者通行量）

※東エリア（壱番街商店街、新京橋商店街、京町商店街①、京町商店街②、はりまや橋商店街、はりまや橋東上）



年	(単位)
H28	34,671 人 (基準年値)
H29	37,371 人
H30	36,498 人
R1	40,383 人
R2	20,037 人
R3	
R4	35,585 人 (目標値)

※調査方法：「商店街歩行者通行量調査」による

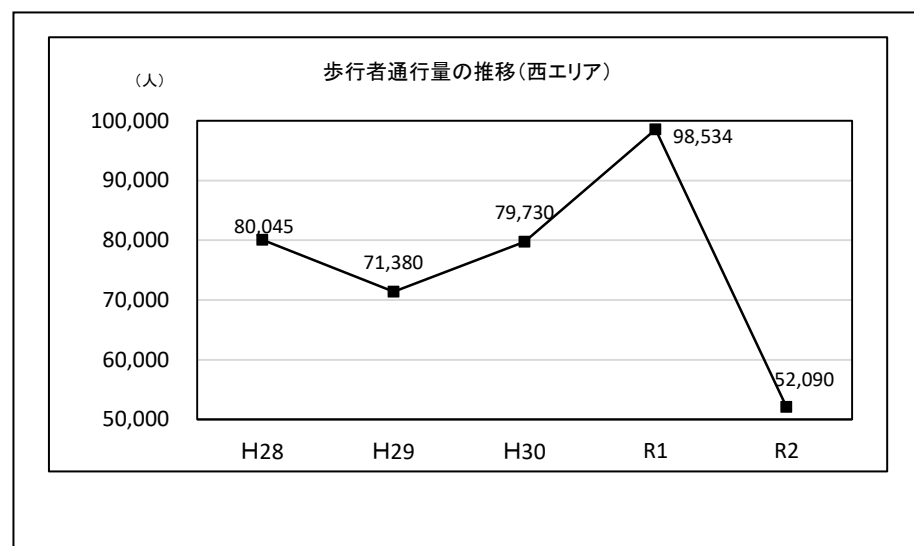
※調査月：毎年 12 月

※調査主体：高知市、高知県商店街振興組合連合会

※調査対象：中心市街地内の歩行者

（参考指標② 西エリア（８地点）の歩行者通行量）

※西エリア（大橋通り商店街、帯屋町二丁目商店街、帯屋町一丁目商店街、おびさんロード商店街、天神橋通商店街、四国銀行帯屋町支店前、ひろめ市場東、オーテピア東）



年	(単位)
H28	80,045 人 (基準年値)
H29	71,380 人
H30	79,730 人
R1	98,534 人
R2	52,090 人
R3	
R4	82,940 人 (目標値)

※調査方法：「商店街歩行者通行量調査」による

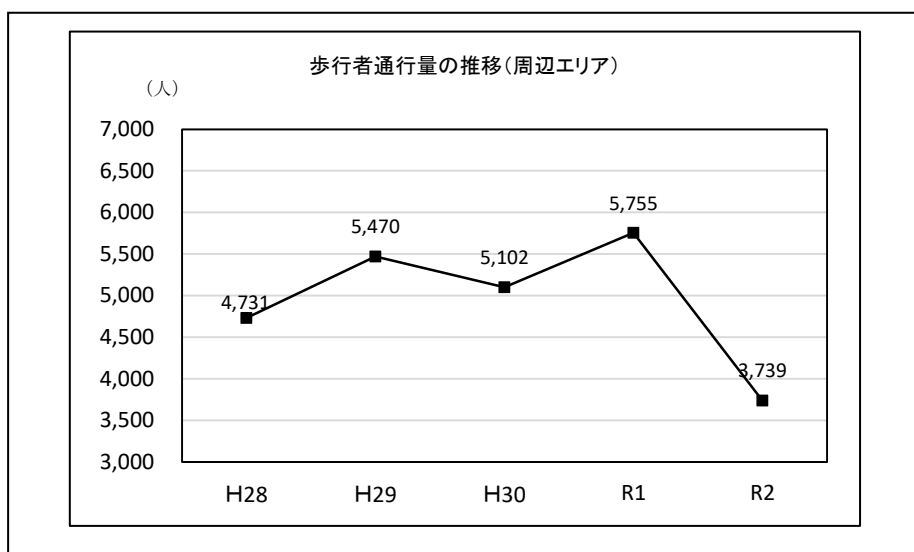
※調査月：毎年 12 月

※調査主体：高知市、高知県商店街振興組合連合会

※調査対象：中心市街地内の歩行者

(参考指標③ 周辺エリア（３地点）の歩行者通行量)

※周辺エリア（菜園場商店街、升形商店街、高知橋南詰）



年	(単位)
H28	4,731 人 (基準年値)
H29	5,470 人
H30	5,102 人
R 1	5,755 人
R 2	3,739 人
R 3	
R 4	4,753 人 (目標値)

※調査方法：「商店街歩行者通行量調査」による

※調査月：毎年 12 月

※調査主体：高知市，高知県商店街振興組合連合会

※調査対象：中心市街地内の歩行者

① オーテピアにおけるソフト事業（高知県，高知市）

事業実施期間	平成 30 年度～令和 4 年度【実施中】
事業概要	オーテピア多目的広場を活用した各種イベントや，日曜市・中心商店街と連携した取組を実施するもの
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	平成 30 年 7 月のオーテピア開館以降，「土曜夜市」や「高知まちゼミ」等，中心商店街が実施するイベントに積極的に参加するなど，商店街等と連携した取組を実施してきたが，令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により，これらのイベントが中止となり，事業実施に至らなかった。 ・計画：年間入館者 1,000,000 人 ・令和 2 年度実績：707,197 人
事業の今後について	中心商店街が実施する「土曜夜市」や「まちゼミ」等のイベントが開催される場合は，感染症対策を行いながら参加し，オーテピアから商店街への人の流れを創出していく。

② 高知大丸リニューアル事業（株式会社 高知大丸）

事業実施期間	平成 30 年度～令和 4 年度【実施中】
事業概要	中心市街地に唯一立地する百貨店である高知大丸東館のリニューアルを実施するもの

国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑み、リニューアルの時期を見合わせることにした。 令和2年度は当該百貨店の環境分析や市民ニーズ調査等を実施し、リニューアル構想の検討を行った。 ・計画：周辺商店街等の通行量がH28の34,671人から5%増加（+1,733人）の見込み
事業の今後について	地域共生型百貨店として、高知のローカル資源や生活に密着したコンテンツを取り入れたリニューアルを令和3年度～令和4年度にかけて順次実施していく。

③ 高知城歴史博物館ソフト事業（高知県）

事業実施期間	平成28年度～令和4年度【実施中】
事業概要	高知城歴史博物館において、多彩なイベント、日曜市や中心商店街との連携事業、情報発信等を実施するもの
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	日曜市と関連したイベントなどは、新型コロナウイルス感染防止のため中止とし、まちの歴史文化スポットに関する情報提供などを実施した。 ・計画：年間観覧者数 200,000人 ・令和2年度実績：27,756人
事業の今後について	目標達成に向けて、日曜市と関連したイベント、まちの歴史文化スポットに関する情報提供などを継続して実施していく。

④ （仮称）帯屋町一丁目地区複合施設整備事業（民間事業者）【再掲】

事業実施期間	平成30年度～令和3年度【実施中】
事業概要	商業店舗や映画館と共同住宅の複合施設を整備するもの
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	既存建物にあった映画館が、平成31年1月から休館。 令和元年6月、解体工事及び建設工事に着手した。 令和3年5月竣工予定。 ・計画：供給戸数51戸 82人の居住人口増加見込み（1戸あたり平均1.62人と仮定）
事業の今後について	令和3年5月に竣工予定。共同住宅51戸を整備する予定であり、中心市街地における街なか居住の推進に寄与することが期待される。

⑤ 街なか空間有効活用事業（高知市，商店街，民間事業者）

事業実施期間	平成 30 年度～令和 4 年度【実施中】
事業概要	中心市街地に点在する未利用地や空き店舗，公共空間等においてイベントを開催する等有効利用を図るもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	感染症対策を行いながら中心市街地に賑わいを呼び戻すイベントをオーテピア西敷地で実施した。 〔 ・高知大道芸フェス 2020（10/3，10/4） ・アートアクアリウム展～高知・金魚の海～（12/19～3/7） 〕 ・計画：平成 29 年度時点の誘客数 1,200 人を 10%増加させ，3 か所程度回遊と仮定 $1,200 \text{ 人} \times 10\% \times 3 = 360 \text{ 人}$ 増加見込み ・令和 2 年度の歩行者通行量調査を 12 月 18 日と 20 日に実施したが，高知県が飲食店等に営業時間短縮を要請した期間中（令和 2 年 12 月 16 日～令和 3 年 1 月 11 日）であり，市民・県民が不要不急の外出を控えていたことから，アートアクアリウム展開催による効果が発現されなかった。
事業の今後について	新型コロナウイルス感染の収束状況を見ながら，高知大道芸フェス 2021 等，未利用地を有効活用した各種イベントを開催していく。

⑥ レンタサイクル事業（高知市）

事業実施期間	平成 30 年度～令和 4 年度【実施中】
事業概要	中心市街地を快適に回遊できるレンタサイクルの導入及び実施
国の支援措置名及び支援期間	都市再生整備計画道路占用許可の特例，都市公園の占用許可の特例（活用予定）
事業目標値・最新値及び進捗状況	レンタサイクル利用者が便利に乗り降りできるよう，サイクルポートを中心市街地内随所に整備することで，来街者の回遊性の向上が期待できる。 平成 30 年度及び令和元年度にシェアサイクル導入の先進市を視察し事業実施に向けて研究を行ったが，令和 2 年度は予算が確保できず，具体的な事業化に至っていない。 ・計画： 平日 75 人，休日は平日の 2.1 倍の 158 人の利用を目指し，利用者の 25%の人が 3 か所回遊と仮定。 $233 \text{ 人} \times 25\% \times 3 = 175 \text{ 人}$ 増加見込み
事業の今後について	シェアサイクルの導入に向けて，実施可能な方法について引き続き研究を行い，事業主体となる民間事業者の選定や事業調整等を行っていく。

⑦ 学生活動交流館事業、学生と商店街の連携事業（高知市、商店街、学生）

事業実施期間	学生活動交流館事業：平成 25 年度～令和 4 年度【実施中】 学生と商店街の連携事業：平成 30 年度～令和 4 年度【実施中】
事業概要	京町商店街にある高知市学生活動交流館の運営及び当該施設における学生グループの活動支援を行うとともに、その他商店街と連携した学生主催のイベントを企画、実施する。
国の支援措置名及び支援期間	学生活動交流館事業：中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（平成 25 年度～令和 4 年度） 学生と商店街の連携事業：国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	高知市学生活動交流館は、新型コロナウイルス感染症の影響により令和 2 年 4 月は休館。その後、感染症対策を行いながら、学生グループの自主研究や芸術・文化グループ作品展示等を行った。 また、高知商業高校主催の「第 21 回はりまやストリートフェスティバル」等のイベントも商店街の協力を得て開催されたほか、令和元年度に続き、商店街青年部と中高生が商店街の将来像について研究するまちづくり勉強会「高知おまち学園」を実施した。 ・計画：160 人増加見込み
事業の今後について	高知市学生活動交流館において、学生グループ等が実施する作品展示、実習等の活動への貸出しを行う。また、利用率の向上にむけて、施設の PR を行う。 商店街との連携事業についても、「第 22 回はりまやストリートフェスティバル」や商店街と大学生の勉強会も開催予定。

⑧ 「ロイヤルガーデンはりまや町」整備事業（株式会社和田コーポレーション）【再掲】

事業実施期間	平成 30 年度【済】
事業概要	はりまや町一丁目地区における民間分譲マンションの整備
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	平成 30 年 12 月竣工。分譲戸数 42 戸のマンションが整備されたことにより、はりまや町一丁目地区の居住人口増加につながり、歩行者通行量の増加にも寄与している。 ・計画：供給戸数 42 戸 68 人の居住人口増加見込み ・実績：計画通り 42 戸整備、完売
事業の今後について	事業完了

⑨ 「クレアホームズ升形 ザ・レジデンス」整備事業（セントラル総合開発株式会社）【再掲】

事業実施期間	平成 30 年度【済】
事業概要	升形地区における民間分譲マンションの整備

国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	平成 31 年 2 月竣工。分譲戸数 38 戸のマンションが整備されたことにより、升形地区の居住人口増加につながり、歩行者通行量の増加にも寄与している。 ・計画：供給戸数 38 戸 61 人の居住人口増加見込み ・実績：計画通り 38 戸整備，完売
事業の今後について	事業完了

⑩ まんがイベント事業，芸術文化振興事業（高知県，高知市，民間事業者）

事業実施期間	まんがイベント事業：平成 15 年度～令和 4 年度【実施中】 芸術文化振興事業：平成 30 年度～令和 4 年度【実施中】
事業概要	まんがに関するイベントの開催や地元商店街と連携したイベント等を実施する。また，県民文化ホール，かるぽーと等での芸術・文化イベントの実施により来街促進を図る。
国の支援措置名及び支援期間	まんがイベント事業：中心市街地活性化ソフト事業（総務省），文化芸術振興費補助金 芸術文化振興事業：国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	「まんが甲子園」，「まんさい」，「全国漫画家大会議 in まんが王国・土佐」はいずれも新型コロナウイルス感染症の影響に伴い，ウェブ上での開催となった。また，旧県立図書館に新たな情報発信拠点「高知まんが BASE」が令和 2 年 4 月にオープン。まんが塾や親子まんが教室を開催した。 計画：利用者増加見込数 16,302 人÷想定営業日数 312＝52 人 半数が商店街に移動し，2 か所回遊と仮定 52 人÷2×2 か所×2 日＝104 人増加見込み 実績：144,726 人（かるぽーとの令和 2 年度入館者数） ※基準値（平成 28 年度）からの減少数：329,972 人
事業の今後について	「まんが甲子園」，「まんさい」，「全国漫画家大会議 in まんが王国・土佐」を継続して実施するとともに，「高知まんが BASE」についても 1 周年記念イベントを開催予定。

⑪ 高知よさこい情報交流館運営事業（高知市）

事業実施期間	平成 25 年度～令和 4 年度【実施中】
事業概要	高知よさこい情報交流館の運営を行い，よさこいをテーマとした展示やよさこい祭り開催時以外でもよさこいを体感できるイベントを実施するもの
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（平成 25 年度～令和 4 年度）
事業目標値・最新値	新型コロナウイルス感染症の影響によりよさこい祭りが中止となり，

及び進捗状況	入館者数も減少したが、感染症対策を行いながら、「よさこいフラフ展」や各種作品展・写真展等、よさこいをテーマにした企画展を展開した。 計画：入館者増加見込数 2,942 人÷想定開館日数 312＝9 人 半数が商店街に移動し、2 か所回遊と仮定 9 人÷2×2 か所×2 日＝18 人増加見込み 実績：22,357 人 ※基準値（平成 28 年度）からの減少数：31,701 人
事業の今後について	よさこい情報交流館あり方検討を踏まえた、よさこい情報交流館の運営（インバウンド観光推進、全国よさこい情報の充実化、商店街との連携強化等）や、よさこい企画展の開催などに引き続き取り組むことで、来街の促進や回遊性の向上を図っていく。

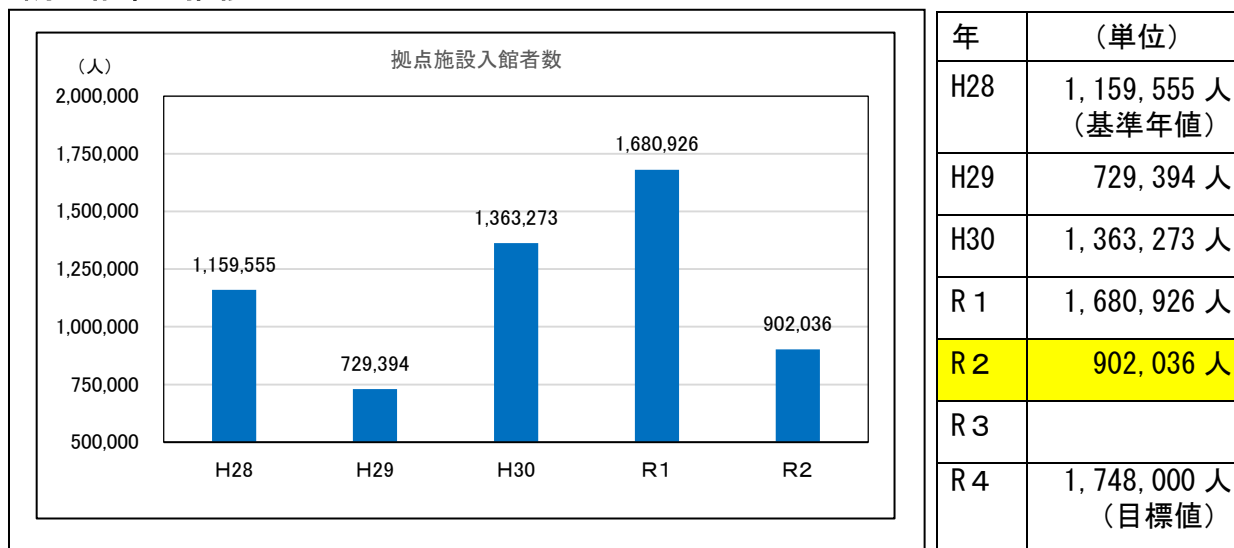
●目標達成の見通し及び今後の対策

基本計画の推進により歩行者通行量は順調に増加しており、令和元年度には目標値を達成していたが、一転して令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の急拡大による外出控えや観光客入込数の減少が大きく影響し、平成 24 年度の調査開始以降過去最低の数値となった。

（仮称）帯屋町一丁目地区複合施設整備事業など目標達成に関連する主要ハード事業は概ね順調に進捗している一方で、ソフト事業については、商店街やオーテピア、高知城歴史博物館、かるぽーとを中心に展開されるイベントが中止や規模縮小となった。ソフト事業は今後もオンラインや密集を回避する規模での実施がニューノーマルとなっていくため、コロナ以前に設定した目標を達成することは困難な状況である。目標達成に向けては、ニューノーマルに対応するよう、登載事業の変更等、今後の対策について検討する必要がある。

Ⅲ「拠点施設入館者数」※目標設定の考え方基本計画 P84～P87 参照

●調査結果の推移



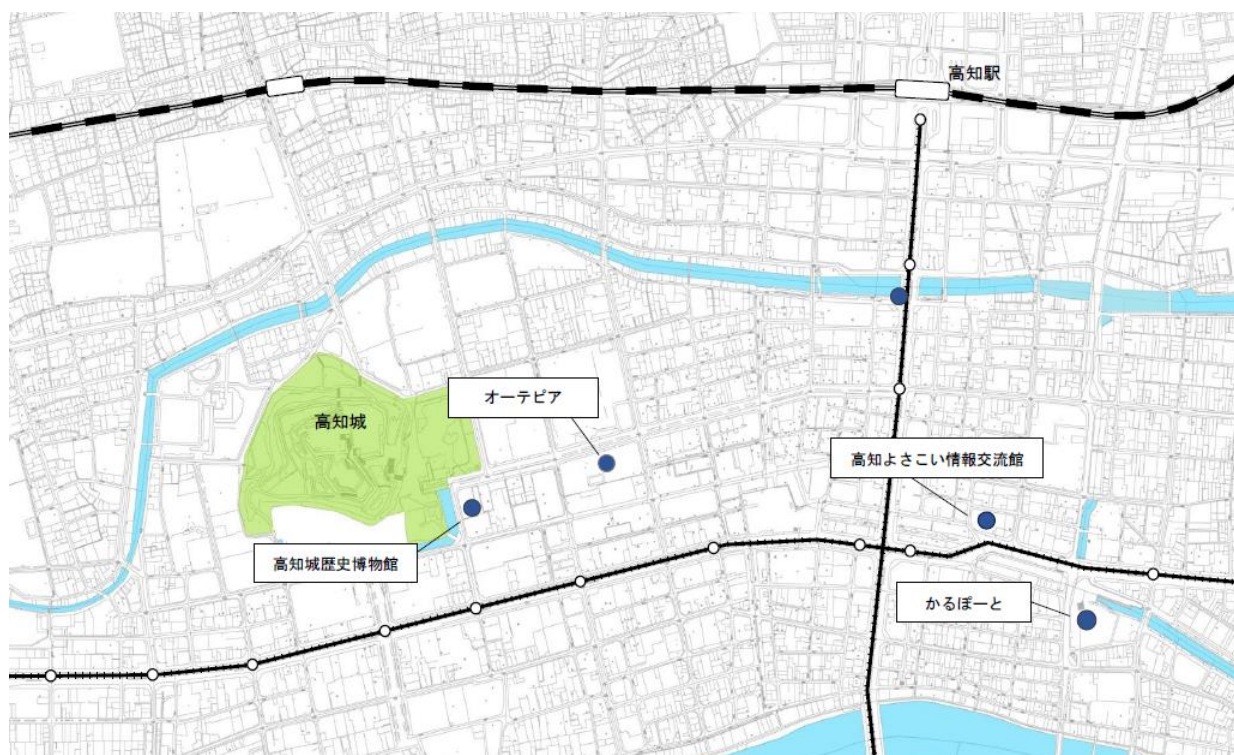
※調査方法：拠点施設（４施設）ごとに日常的に計測し、年間入館者数を集計

※調査月：毎年４月

※調査主体：高知県，高知市

※調査対象：オーテピア，高知城歴史博物館，かるぼーと，高知よさこい情報交流館の４施設（H29年度はオーテピアが開館前のため，３施設の入館者数の合計値）

<調査地点図>



(単位：人)

	平成 29 年 度 (計画前年度)	平成 30 年度 (1 年目)	令和元年度 (2 年目)	令和 2 年度 (3 年目)
オーテピア	—	747,393	1,028,441	707,197
高知城歴史博物館	217,195	106,247	74,513	27,756
かるぽーと	456,829	449,195	524,630	144,726
高知よさこい情報交流館	55,370	60,438	53,342	22,357
合計	729,394	1,363,273	1,680,926	902,036

<分析内容>

オーテピアや高知城歴史博物館でのソフト事業の実施、高知市文化プラザかるぽーとにおけるまんがイベント事業等の実施により目標達成に向けて順調に推移してきたが、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により各施設が休館していたことに加え、様々なイベントの中止や外出控えなどが影響し、前年と比較して大幅な落ち込みとなった。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①オーテピアにおけるソフト事業（高知県、高知市）【再掲】

事業実施期間	平成 30 年度～令和 4 年度【実施中】
事業概要	オーテピア多目的広場を活用した各種イベントや、日曜市・中心商店街と連携した取組を実施するもの
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	平成 30 年 7 月のオーテピア開館以降、「土曜夜市」や「高知まちゼミ」等、中心商店街が実施するイベントに積極的に参加するなど、商店街等と連携した取組を実施してきたが、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、これらのイベントが中止となり、事業実施に至らなかった。 ・計画：年間入館者 1,000,000 人 ・令和 2 年度実績：707,197 人
事業の今後について	中心商店街が実施する「土曜夜市」や「まちゼミ」等のイベントが開催される場合は、感染症対策を行いながら参加し、オーテピアから商店街への人の流れを創出していく。

② 高知城歴史博物館ソフト事業（高知県）【再掲】

事業実施期間	平成 28 年度～令和 4 年度【実施中】
事業概要	高知城歴史博物館において、多彩なイベント、日曜市や中心商店街との連携事業、情報発信等を実施するもの
国の支援措置名及び	国の支援措置なし

支援期間	
事業目標値・最新値 及び進捗状況	日曜市と関連したイベントなどは、新型コロナウイルス感染防止のため中止とし、まちの歴史文化スポットに関する情報提供などを実施した。 ・計画：年間観覧者数 200,000 人 ・令和2年度実績：27,756 人
事業の今後について	目標達成に向けて、日曜市と関連したイベント、まちの歴史文化スポットに関する情報提供などを継続して実施していく。

③ まんがイベント事業、芸術文化振興事業（高知県、高知市、民間事業者）【再掲】

事業実施期間	まんがイベント事業：平成 15 年度～令和4年度【実施中】 芸術文化振興事業：平成 30 年度～令和4年度【実施中】
事業概要	まんがに関するイベントの開催や地元商店街と連携したイベント等を実施する。また、県民文化ホール、かるぽーと等での芸術・文化イベントの実施により来街促進を図る。
国の支援措置名及び 支援期間	まんがイベント事業：中心市街地活性化ソフト事業（総務省）、文化芸術振興費補助金 芸術文化振興事業：国の支援措置なし
事業目標値・最新値 及び進捗状況	「まんが甲子園」、「まんさい」、「全国漫画家大会議 in まんが王国・土佐」はいずれも新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、ウェブ上での開催となった。また、旧県立図書館に新たな情報発信拠点「高知まんが BASE」が令和2年4月にオープン。まんが塾や親子まんが教室を開催した。 計画：利用者増加見込数 16,302 人÷想定営業日数 312=52 人 半数が商店街に移動し、2 か所回遊と仮定 52 人÷2×2 か所×2 日=104 人増加見込み 実績：144,726 人（かるぽーとの令和2年度入館者数） ※基準値（平成 28 年度）からの減少数：329,972 人
事業の今後について	「まんが甲子園」、「まんさい」、「全国漫画家大会議 in まんが王国・土佐」を継続して実施するとともに、「高知まんが BASE」についても1周年記念イベントを開催予定。

④ 高知よさこい情報交流館運営事業（高知市）【再掲】

事業実施期間	平成 25 年度～令和4年度【実施中】
事業概要	高知よさこい情報交流館の運営を行い、よさこいをテーマとした展示やよさこい祭り開催時以外でもよさこいを体感できるイベントを実施するもの
国の支援措置名及び 支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（平成 25 年度～令和4年度）
事業目標値・最新値	新型コロナウイルス感染症の影響によりよさこい祭りが中止となり、

及び進捗状況	入館者数も減少したが、感染症対策を行いながら、「よさこいフラフ展」や各種作品展・写真展等、よさこいをテーマにした企画展を展開した。 計画：入館者増加見込数 2,942 人÷想定開館日数 312＝9 人 半数が商店街に移動し、2 か所回遊と仮定 9 人÷2×2 か所×2 日＝18 人増加見込み 実績：22,357 人 ※基準値（平成 28 年度）からの減少数：31,701 人
事業の今後について	よさこい情報交流館あり方検討を踏まえた、よさこい情報交流館の運営（インバウンド観光推進、全国よさこい情報の充実化、商店街との連携強化等）や、よさこい企画展の開催などに引き続き取り組むことで、来街の促進や回遊性の向上を図っていく。

●目標達成の見通し及び今後の対策

拠点施設の入館者数については、昨年度まではオーテピアや高知城歴史博物館でのソフト事業の着実な実施や、高知市文化プラザかるぽーとにおける芸術文化振興事業及びまんがイベント事業の充実等により、目標達成に向けて増加傾向となっていたが、一転して令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により各施設が休館していたことやイベントの中止及び外出控えなどが影響し、前年の 4 割以上の落ち込みとなった。

各拠点施設では感染症対策を行いながら各ソフト事業の展開に努めているものの、オンラインや密集を回避する規模での実施が今後のニューノーマルとなっていくことに加え、拠点施設の一つである「かるぽーと」は令和 4 年度から大規模改修が予定されており全館休館になることから、目標を達成することは困難な状況である。目標達成に向けては、ニューノーマルに対応するよう、登載事業の変更等、今後の対策について検討する必要がある。